

# ものづくり人材育成やまがた便り

## 山形のものづくり人材育成について

山形県立山形工業高等学校  
校長 阿部 稔



本校は、第一次世界大戦後の産業振興と教育の充実を図るため、大正9年、山形工業学校として開校しました。今年4月には創立99周年を迎え、9月の新グランド完成をもって5カ年にわたる新校舎建設工事が終了します。創立100周年の節目に合わせ、ものづくり人材育成の拠点として、恵まれた学習環境が整備されました。

本校は、めざす学校像を「歴史と文化が薫るものづくりを重視する科学技術系工業高校」と掲げ、全ての生徒がものづくりの基礎基本を身につける過程で、心技体を鍛え人間力を育成する「ものづくりを重視」する教育を展開しております。また、「科学技術系工業高校」として、ものづくりが高度化している社会において、地域企業や大学等と連携し、現代的課題である「環境」や「エネルギー」そして、「人工知能社会」に対応する科学技術教育をバランスよく取入れた工業教育を実践しています。社会の変化に対応し、地域産業の発展に寄与できる工業技術者を育成するためには、従来の工業高校の取り組みに加え、科学と技術を組み合わせた教育が不可欠であると考えます。

さて、平成30年度、本校の進路状況は、

3年生237名中、就職43%、進学57%となりました。就職者の80%が県内就職、進学者の50%（山形大6名、芸工大17名、産技短大30名、職能開発校8名、他）が県内の学校に進学しています。県内就職者に加え、県内進学者の80%が県内定着している現状から、多くの本校卒業生が県内企業に就職しており、今後も地域の未来を担う人材の育成が本校の使命であると考えます。そのため、本校では県内企業に関する情報を生徒に理解させる学習を重視しています。地元企業に御協力をいただき、すべての学年・学科で工場見学や進路講話を実施しているほか、2年生全員が3日間のインターンシップを行い企業理解や職業観の育成に努めております。

昨年3月に新しい学習指導要領が告示され、「社会に開かれた教育課程」が目指すべき理念として掲げられました。これは、よりよい社会を創るという目標のもと、地域社会とつながる学校づくりを行ない、学校を核として活力ある地域コミュニティを築くことを実現するものです。本校は、「地域に開かれた学校」から一歩進んで、地域と学校が双方向で協働する「地域とともにある学校づくり」を目指してまいりたいと存じますので、今後とも関係者の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

## 企業訪問記

### ～ 株式会社 ナカノアパレル ～

(ホームページ <http://nakano-apparel.co.jp/>)

代表取締役社長 中野 憲司



今回訪問させていただいた株式会社ナカノアパレル（代表取締役社長 中野 憲司、従業員150名）は、1986年（昭和61年）創業、1988年（昭和63年）設立の繊維二次製品製造販売会社としてスタートしました。また、2016年には本社登記を山形県南陽市郡山1-58へ移転しています。

当社は、編んだ生地を裁断し縫製するカットソーを主体に、企画から縫製に至る生産体制を活かして、アパレルメーカーのOEM（Original Equipment Manufacturer）とODM（Original Design Manufacturer）を担っています。中国の自社工場設立を機に、企画提案をはじめ、素材調達・開発から縫製にいたるすべての工程を一貫して請け負える生産体制が確立しました。それ以降、アパレルメーカーとの関係は、単なる生産ラインを提供する企業ではなく、メーカーの各ブランドを支えるブランニングパートナーへと昇華しています。また、本社工場×国内工場×中国工場がそれぞれの特徴を活かしながら作業連携し、多様化する顧客のニーズを実現しています。さらに、東京本社には、パターンナーが常駐し、オフィス内に縫製ルームが完備しており、easy（着やすく、扱いやすい）/complement（引き立てる）/essential（本質的なもの）をコンセプトとして、タイムリーに試作品の作成・提案を実施しています。また、工場では、立ちミシン方式の採用、1枚裁断機の導入、高度な縫製技術の自社開発など卓越した技術力を誇っています。

#### (1) 経営理念

経営とは、自ら変化に対応して永遠の成長を目指すことである。経営とは、事業活動のあらゆる局面でのあくなき効率・結果の追求である。経営とは、社員の英知とエネルギーを集結することである。お客様に誠実・懇切に接して、改革と創造を追求する。

#### (2) 目指すは“永遠の成長”

多様化するアパレル市場のニーズを先取りし、新しい価値を創造し社会を豊かにする一翼を担うことが「ナカノアパレル」の事業活動である。マーケットの流行やニーズに合ったオリジナルサンプルのアパレルメーカーへの提案など他社がやらないことにこそ活路があり、新たな価値を生み出す可能性が秘められている。創業時の精神を忘れずに、決して歩みを止めず、社員の英知とエネルギーを結集して、常に新たな挑戦を続けていく。

#### (3) 人材の育成

##### ① 社内研修

新入社員研修は社会人としての心構えなどの基本的な内容で、毎年4月に1週間実施している。その後、配属先にてOJT主体の実践の縫製作業の実習となる。例年、10月頃に新入社員チームによる洋服製作を実施して、習熟度を評価し、更なる育成を図っている。

外国からの技術実習生は、事前に日本語や日本の文化について勉強した後に採用され、採用後には、技能実習指導員が指導している。

##### ② 外部研修

ジューキミシンの研修に参加など実績が有る。

#### (4) 資格制度(有資格者数)

被服検定1級の合格者排出を目指している。

#### (5) 外国人の採用

現在、ベトナム人26名、中国人1名就業中。国内の人手不足もあり、勤労意欲が高く、人柄も優しいベトナム人が多くなっている。

#### (6) 新卒採用について(中途採用は随時)

2018年度採用実績(高卒1名、大卒2名、ベトナム人1名)

## ＝ 若手社員へのインタビュー ＝

入社2年7ヶ月でベトナム出身のグィ・ティ・ヌーチャンさんにお話を伺いました。  
(現在ベトナム出身の女性は26名在籍。)



### Q 入社への動機は

この会社は、日本人の社員がとても優しく、良い会社だと思いました。

### Q 担当業務の内容と感じていることは

洋服の縫製を担当しています。日本の縫製技術は優れているので、覚えるために一生懸命頑張っています。

### Q 現在の仕事はどうですか

頻繁に新しいデザインの洋服が出てくるので大変ですが、部分的な縫製は出来るようになり、段々上達していると思います。

### Q これからの目標は

あと4ヶ月でベトナムに帰りますが、帰って

も日本の会社で働きたいので、最後までもっともっと日本の技術を覚えたいです。

### Q 休日はどんなことをしていますか

休みの日は、たまには仲間の人達と一緒に出かけ、おいしい物を食べたり、洋服を買ったりしています。

### Q 最後に、大切にしている心構えは

縫製をする前に型紙を良く見て理解してから始めています。また、縫った後にも指示寸法の確認をしています。

最後に、取材に御協力いただきました山田顧問、加藤工場長、インタビューさせていただいたヌーチャンさんありがとうございました。

## ～(公財)山形県産業技術振興機構研修課より～

今年もたくさんの企業の皆様に、当機構主催の製造業技術者研修、成長分野参入人材育成研修、マネジメント人材育成研修を御利用いただき誠にありがとうございました。

今後とも県内産業振興のため、ものづくり企業の皆様の人材育成の一助となる研修事業や情報の提供を展開してまいりますので、引き続き、御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ◆製造業技術者研修◆



<精密測定技術研修>

### ◆成長分野参入人材育成研修◆



<生産改善研修>

### ◆マネジメント人材育成研修◆



## ～最終号にあたり編集者から一言～

今年度は山形のものづくり人材育成に造詣の深い山形大学の小野寺先生、東北芸術工科大学の柚木先生、鶴岡工業高等専門学校の高橋校長先生、山形工業高等学校の阿部校長先生の4名の方々に巻頭言を寄稿いただきました。また、企業訪問記におきましては(株)シェルター、ティビーアール(株)、(株)新庄エレメックス、(株)ナカノアパレルの4社に訪問インタビューさせていただきました。御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

## ～県からのお知らせ～

### ■ 平成31年度前期 技能検定（技能五輪山形県予選会）について

技能検定は、職業能力開発促進法に基づき、技能者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって検定し、それを公に証明する国家検定制度です。

35歳未満の方※を対象に2級及び3級の実技試験受検料を最大9,000円軽減しております。ぜひ、技能検定制度をご活用ください。

（※実技試験実施日が属する年度の4月1日において、35歳に達していない者）

### ～受付期間～

- ・例年同様、**4月上旬～中旬（12日間程度）**の予定です。
- ・**受付期間が短いため、申し込み忘れの無いよう、ご注意ください！**
- ・なお、具体的な日程（受付期間、試験実施日）等については、3月1日に「**山形県職業能力開発協会ホームページ**」（下記URL参照）に掲載予定です。

### ～技能五輪全国大会山形県予選会～

一部職種については、**技能検定2級の実技試験が、第57回技能五輪全国大会（あいち大会）に参加する山形県選手を決定するための選考の一部**となります。

該当職種等、詳細については、山形県職業能力開発協会にお問合せください。

「第57回技能五輪全国大会（あいち大会）」<http://aichi-gorin-abilym.jp/>

★「技能五輪 愛知」で検索！

「山形県職業能力開発協会」ホームページ

<http://www.y-kaihatu.jp/index.html>

※ 技能検定、技能五輪の詳細については、こちらをご覧ください。

若手技能者の皆さん！自分の実力を全国大会の舞台で発揮してみませんか？

若手技能者が勤務している企業の皆さん！

技能検定や技能五輪を、若手技能者の更なるスキルアップ

に活用してみませんか？

### ～問合せ先～

- ◆この記事について
  - ・山形県商工労働部雇用対策課  
産業人材育成担当
  - ・電話 023-630-2388
- ◆技能検定（技能五輪山形県予選会）について
  - ・山形県職業能力開発協会
  - ・電話 023-644-8562

